

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助 ・ (その他補助)	開始時期	令和4年7月1日	終期	令和7年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		新潟市認知症予防のための補聴器購入費助成					
款・項・目		衛生費 保健衛生費 保健予防費					
所属等		保健衛生部 保健所健康増進課 健康づくり・歯科保健担当 電話025-212-8166					

年 度		令和4年度（1年目）		令和5年度（2年目）		令和6年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	5,339		6,822		6,900	県708
	決算(千円)	5,339		6,822	県411	6,900	県708
補 助 率		補聴器購入費の2分の1、上限25,000円		補聴器購入費の2分の1、上限25,000円		補聴器購入費の2分の1、上限25,000円	
目 標		補聴器の装用によりコミュニケーション能力の維持・向上を図る。					
		＜目標が数値でない場合の評価方法＞					
		下記に記載					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	＜R4目標＞補聴器装用前と装用1年後に、聞こえに関することや社会参加の状況、補聴器の使用状況等をアンケート調査し、検証する。 聞こえについての困りごとの点数が維持改善された人：91.2% 地域や社会で行っている活動の数が維持増加した人：60.0% 補聴器を使用することで活動がしやすくなったと回答した人：81.8%		＜R5目標＞補聴器装用前と装用1年後に、聞こえに関することや社会参加の状況、補聴器の使用状況等をアンケート調査し、検証する。 聞こえについての困りごとの点数が維持改善された人：91.2% 地域や社会で行っている活動の数が維持増加した人：57.1% 補聴器を使用することで活動がしやすくなったと回答した人：78.0%		＜R6目標＞補聴器使用状況調査を補聴器装用前と装用半年後に行い、聞こえに関することや補聴器の使用状況等をアンケート調査し、検証する。	
補助事業者による情報の公表		補助事業者が個人であるため、情報の公開は行いません。					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○	
		b. 補助率は1／2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	×	
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	×	
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○	
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> c. 補聴器購入費の2分の1、上限25,000円。 f. 補助事業者が個人であるため、情報の公表は行いません。 <g～hにおける取組> g. 装用前と装用後にアンケート調査し検証する。				
		目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
① 拡充 ・ 改善（ 補助率、補助額、補助対象経費、その他 ） ② 継続 ③ 廃止						
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること						
アンケート結果より、装用することでコミュニケーション能力の維持向上を図ることができたという回答が多く得られ、適切な時期に補聴器を使用することは認知症予防に繋げることが出来た。 今後も本事業を継続し、引き続き認知症予防に繋げていく。						